

市内若潮町

市有地を売却します

申し込みの受け付けは先着順となります。

売却物件

- 所在地番：匝瑳市若潮町19番7 現況：空地 地目：宅地 面積：259・94㎡
- 用途地域：第二種低層住宅専用地域
- 容積率：100%
- 建ぺい率：50%
- 市内循環バス 八日市場駅

から若潮町入口まで5分

1日10本

- 八日市場駅まで1・7km
- 市役所まで3・1km
- 市民病院まで0・8km
- 八日市場小学校まで1・3km
- 八日市場第二中学校まで0・4km
- 購入を希望する方は、左記までご連絡ください。
- 問市民病院施設用度班 ☎0479・72・1525



新たに10人が決定

匝瑳市社会教育委員

平成18年4月から2年間活動された社会教育委員の任期満了に伴い、新たに10人の方が決まり(下段名簿参照)委嘱状が交付されました。任期は平成20年4月から平成22年3月までの2年間です。

社会教育委員とは、学校教育および社会教育の関係者、家庭教育の向上に役立てる活動を行う者並びに学識経験者などで構成されており、教育委員会が行う社会教育に関する意見を述べる事ができるとともに、助言と指導を与えることができます。

また、社会教育の振興について、調査、研究、提言なども行います。

平成20年度匝瑳市社会教育委員名簿

	氏名	選出分野	役職
1	及川 一好	市子連会長	議長
2	川口 城司	文化団体代表	副議長
3	齋藤 光雄	学校関係	
4	林 昭	体育協会会長	
5	川野多恵子	婦人会長	
6	板倉 輝治	老人クラブ会長	
7	佐藤 和広	P T A 連協代表	
8	伊橋 良子	学識経験者	
9	大木 隆子	学識経験者	
10	越川 正己	学識経験者	

活動内容

社会教育委員会議の開催

各社会教育団体との連携

東総社会教育連絡協議会の運営、協力

県教育関係行事(家庭教育フォーラム、人権地区別研修会、社会教育振興大会等)への参加、協力

問生涯学習室 ☎67-1266



文芸コーナー

短歌

病癒え初浅間に孫背負ひ山登りつつ幸を祈り  
 ぬ 思ひ出を手繰りつつ見る名簿の友にはや幾人  
 川村千賀子 権名 昭雄  
 も永眠とあり  
 値の安く抜き捨てられし大根が皺みて花を咲  
 多部田佐智子  
 かせてあたり  
 新緑の清しさを胸に浴び庭の干草も息づか  
 いなす 佐藤 泰子  
 幼き日共に学びし友の版画書いて画家となり  
 木島 仁美  
 しを知りぬ  
 月足らず小さく生れし甥も今職の決まりて写  
 真送り来 伊藤登美枝  
 十日病みてあつげなく逝きし弟の三七日過ぎ  
 加藤 八枝  
 て葉桜となる  
 強風に吹き廻されしそら豆の曲れる茎に莢の  
 膨らむ 青木 秀子

土屋耕一 推薦

図書館だより



休館日... 7月3日(木)・22日(火)・毎週月曜日  
 日曜日の開館時間... 9時~17時

夏休み中の課題図書の利用について

- ・1人の子どもにつき1冊
- ・貸出期間... 1週間
- ・予約の取り置き... 2日間

とさせていただきます。より多くの方が利用できるよう、ご協力をお願いします。また、館内では『夏休みにお薦めの本(小学生低・中・高学年・中学生向け)の冊子の配布、図書の展示を行いますので、ご活用ください。

図書館には、自由研究のヒントになる本や、工作・読書感想文の書き方などの本があります。夏休み期間中には利用が集中しますので、返却期限を守ってご利用ください。

お願い

- ・図書館の資料はみんなのものです。大切に扱ってください。
- ・ぬれた本は元には戻りません。ご注意ください。また、ページの破れなどは、図書館で補修しますので、セロハンテープは張らないでください。
- ・資料を借りて、破損などを発見した場合は、返却時に職員に伝えてください。

ホームページから所蔵資料の検索ができます。

アドレス <http://www.library.sosa.chiba.jp>  
 問八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

# 片子の盆綱

## 伝統ある盆行事

## 匠探訪

(28)

7、8月は全国で盆行事が行われる月です。盆は先祖の霊を迎えてまつり、終わって送るといって年中行事で、さまざまな形で各地で行われます。

この地域の昭和20年代の盆行事の様子が書かれた記録が見つかったので紹介しましょう。

7月になり、7日の七夕の日に「盆道」といって墓や寺への道を掃除し、寺には高灯籠（高提灯）をたて準備にとりかかります。新盆の家では12日に「棚つり」といって新しく盆棚（ぼんだな）をつくり、手伝った人たちに「盆ぶるまい」でもてなしをします。

13日には各家では仏壇の前に「盆棚」をつくり、夕方にモチをつき、稲の穂、粟の穂、豆、スイカ、瓜、ナスなどを祖先の霊に上げます。「迎え火」をして、タライに水をくみ、そばに草履やわらじをおいて仏が足を洗う用意をします。

14日早朝、ハダシで墓に参り墓前に盆棚をつくり、瓜とナスを細かく切ったものを供え、夕方には婦女子らが「お灯明付け」といって墓参りをしますが、20年代の初めころには「線香」が上げられるようになったといえます。

15日は家の中の盆棚にうどんや7種のごまあえなどを供え、夕方には前日と同じく婦女子らが墓参りに行き、夜更けに仏を送るため「送り火」をたきます。

3人がかりで編まれる片子の盆綱



16日早朝、盆棚を下げ蓮の葉に供物を包んで川に流したり、墓への道に置きます。早朝に行うのは、「仏が帰路に遅れないように一番舟に乗せるため」といわれています。

今日の盆行事も、多少の变化はあっても、大体このような内容で行われているのです。

飯高地区片子の妙印寺では、盆に境内の太木にしめ縄のような太い綱をつるす「盆綱」の行事があります。各家から持ち寄ったワラで長さ数メートルにおよぶ綱をつくり、かなり以前にはムラ中を引きまわしたあと、つたたそうです。

こうした盆綱の行事は全国的に見られ、「道切り」「辻切り」などとよばれる「魔除け」の意味で集落の入り口にワラでへびなどをつくりつるすものと同様のものではないかと考えられます。祇園祭のとき、町内ごとにしめ縄を張ったりして境を示すものと同様です。

盆の行事は、明治時代の新暦が採用されてからも7月に行うところと月遅れの8月のところがあり多様といえます。

関八日市場図書館 ☎73・3746



力作募集中  
あて先...匠瑳市秘書課広報聴班  
〒289 - 2198 匠瑳市八日市場八793番地2  
☎73 - 0080、F A X 72 - 1114

川口城司推薦  
小雨降る庭より立てる標鳥の嘴のみみずをわれも喜ぶ  
熱田千代子

伊橋 良子  
草を引くわれをめぐりて鶯のそれ聴けよがし  
流暢の声  
渡辺 重雄

伴 句  
冬は無き国より帰り吾子の言ふ日本の五月かくも寒きか  
櫻井富実雄  
久々に姑訪へばにこやかにあるに安堵しホム出で来つ  
小川みさ子

西野棠雨推薦  
菅谷たけし  
苦竹の子手折りて母が田を戻る  
中川まさ子

八木佐久司  
夕暮をおくらせてゐる白牡丹  
釣宿に残る魚拓や走り梅雨  
光瀬甲江子

伊藤 友子  
薫風や時には遠き潮鳴りも  
魚河岸の威勢よき声走り梅雨  
依知川きよ

太田三樹夫  
走り梅雨濡れて棹さす潮来舟  
雲が雲押し詰め合つて走り梅雨  
平山 もと

川口城司推薦  
草むしり終りの見えぬ庭に立ち  
伊藤 定子  
髪染むる夏の歌舞伎を見る予定  
伊藤 定子

高梨果宝推薦  
あやめ咲き空どんよりと夕づきぬ大木  
竹子  
川 柳  
高梨果宝推薦

鎌形ミツエ  
霊園を囲む躑躅の花見事  
鮮やかな太巻き寿司の技の冴え  
佐久間美智子

鈴木ツネ子  
見る人を酔わす女形の艶麗さ  
鈴木ツネ子  
手際よく植えた田圃が陽に映える林  
サダ子

椎名 昭雄  
退職しあなた主夫よと妻昼寝  
顔見れば読める泣きつく頼み事  
常世田やす子

伊藤さとこ  
泣きつきを覚え借金して回り  
伊藤さとこ  
神仏に拒否され親にすがり付き  
鈴木十世志

川口城司推薦  
向う見ず我が身を削る原油高  
及川 利道